



学校だより

松葉小HP



7月号 No. 4

令和8年6月30日

台東区立松葉小学校

校長 松尾 敦

Tel 3841-2627

子供たちを育てる大きな力

副校長 川又 大樹

このところ梅雨らしい天候が続いておりますが、先日の矢先稲荷神社大祭では、晴天の下、二基の子供神輿が元気よく校庭を渡御しました。地域の皆様の温かい見守りの中、子供たちは力いっぱい神輿を担ぎ、生き生きとした表情を見せていました。夕方からの奉納演芸大会でも、多くの子供たちが笑顔いっぱいに活躍する姿が見られました。地域行事は、子供たちが人とのつながりや地域の伝統に触れ、その大切さを実感する貴重な機会であると感じました。



また、先日の土曜学校公開には、延べ300名を超える保護者・地域の皆様にご来校いただきました。本校の児童数231名を上回る人数です。学年によっては、お子様の人数以上の保護者の方が熱心に授業を参観される場面も見られました。どの学級でも子供たちが落ち着いて学習に取り組む様子が見られ、日頃の学びの一端をご覧いただけたことと思います。松葉小の子供たちが落ち着いて学校生活を送り、意欲的に学習に取り組めるのは、ご家庭での温かな支えがあってこそだと改めて感じました。

保護者の方がお子様を見守る姿を拝見しながら、私自身、なかなか我が子の学校公開等に参観できないことを振り返り、子供たちと過ごせる時間の尊さについて考えさせられました。私事で恐縮ですが、我が家には、高校生、中学生、小学生の3人の子供がいます。小学生の息子とは、一緒に遊んだり宿題を見たりする時間がありますが、中学生の娘は部活動や習い事等で忙しく、一緒に過ごす時間が少なくなりました。高校生の娘になると、土日にも部活動があるため、ゆっくりと一緒に過ごせる時間は、ほとんどありません。子供の成長は嬉しいことですが、その分、親子で過ごせる時間は少しずつ限られていくものなのだと実感しています。毎日の慌ただしさの中でつい忘れがちですが、親子で一緒に過ごせる時間は、とても貴重なものだと感じるようになりました。

保護者から認められたり励まされたりする経験は、子供の自己肯定感を育てると言われています。特別な場所へ出掛けたり、お金をかけた体験をしたりしなくても、一緒に食事をしたり、ゆっくり会話をしたりする何気ない時間の積み重ねが、子供たちの安心感や心の成長につながっていくのではないのでしょうか。家族や地域との何気ないつながりの中にこそ、子供たちを育てる大きな力があるのだと思います。

7月18日から夏休みが始まります。夏休みは、地域のイベントに参加したり、自然や文化に触れたりするなど、学校ではできない様々な経験ができる貴重な機会です。それだけでなく、保護者の方と一緒に料理をしたり、同じ本を読んで感想を伝え合ったり、親子で新しいことに挑戦したりする時間も、子供たちにとってはかけがえのない思い出になると思います。子供たちが成長してから振り返ったとき、「家族と過ごした夏休みが楽しかった」と思い出せるような時間を、一つでも多くつくっていただければ幸いです。子供たちにとって実り多い夏休みとなるよう、学校でも一人一人を大切にしながら、一学期のまとめを進めてまいります。